

ハザードマップを利用した学校 周辺の被害予測

1年2組 山内 駿

・ここ中村高校周辺は、河川の氾濫によって運ばれた砂などが堆積して形成された平坦地の上もしくは、過去の海底が隆起した平坦地(河口部にあって粘土等からなる平地)に建っています。また、土を盛って造成された平地でもありとても地盤が緩く巨大地震時に液状化の心配があります。

・庄内川と新川が北側に二本あり豪雨時の河川の氾濫による洪水や、巨大地震時の堤防の崩壊などにも心配があります。

・庄内川・新川が氾濫した場合中村区の最大想定浸水深は、5.2mで、中村高校では、3～4m、本陣駅付近で1～2mとなっています。尚、豪雨による浸水の心配は、最大で1mとなっています。

・学校より南のほうには、最大で3.6mの津波が最短で96分以内に到達しますが、学校までは来ないらしいので、津波の心配はなさそうです。

【参考文献】

名古屋市中村区ハザードマップ